



# 判断の決め手はどこに？

私たちには『人から頼られるお悩み』と『人から頼られないお悩み』(こちらに辛いもの)があるようです。そんなふうを考えますと、中間管理職さんは『人から頼られるお悩み』！優柔不断と言ってしまうと、それはそうなのかもしれません、ここはひとつ思い切って慎重に熟慮しているという表現でも使われたらどうでしょうか？ん、つ、とても重みがあつてシブイ感じが良いですね(ときには、自分で自分をだましていくこと

このところ“二者択一”の決断を迫られる場面が急に増えています。複数業者からの売り込みはもちろん、部下からは毎日のように「どうします？」と是非を問われます。決め手がなく先送りすれば、結果は悪くなるばかり。優柔不断な性格で、妻からも「あなたがはっきりしない自分もどうしたらいいか分からない」とよく言われます。決断のポイントをご教示ください。

(あゝ 中間管理職=45歳)

今週のお助け人

きえ りゅうしょう  
**帰依 龍照さん**

しんしゅうじ  
 沖縄市のコザ真宗寺(旧コザ本願寺)住職。  
 諸見里青年会OB。趣味は、見た目に合わせた大型バイクと、見た目に合わない熱帯魚飼育。自分の存在そのものが、人々の癒やしであれば…と日々願う。座右の言は「恩は石に刻み 怨みは水に流せ」。

ホームページ kozashinsyuji.com

## 3つのマル秘ポイント

だつて大切なことなんですよね！  
 このご相談の回答に關しましては、自惚れの最たるもの。まさにわたしは適任者でしょう(笑)！ 住職・会長職として、実に毎日多くの決断・判断をさせていただいていますから(周辺からはワンマンと評判が悪いのですが笑)。ズバリ、わたしが決断させていたかどうかのポイントは…本当はシークレットなのですが、特別に以下



別ににらみを利かせているわけでも、ひねくれているわけでもありません。食い意地がはって食べ過ぎたクワは腹痛と闘っている最中なのです。  
 「うぷっ、腹八分にしとけばよかったよ(泣)」。牧志にて。(ジョーダンよし子)

のようにまとめさせていただきました(中間管理職さんにだけお教えしますので、よそでは絶対に秘密にしておいてくださいね・笑)。

①『小欲につかず 大欲につく』の格言を心に！ 小欲(わたしの個人の損得)を中心に考える判断よりも、大欲(地域や企業・家庭のような集団的な損得)を中心に考える判断の方が、部下や奥さんからの評価も高くなり、これができるようになれば、いづどんなときでも決断・判断が楽しくなります。

②『最終的にはわたしが判断するのだが、ちなみに君だったらどう思うかね？』と、部下や奥さんの意見を参考にされたらどうでしょうか？ 「いやいや、答えたくないよ」とおっしゃるかもしれませんが、ポイントは「全責任はわたしにあるのだから…」と相手に負担をかけること。十人十色と申します。必ず一人に一つの思考方法がありますので、さらりと参考に聞きながら、長所はご自分の意見にしちやい

ましよう！ 判断に困ったときには、これ結構役立ちますよ。

③即答は避けること！ 決断・判断を急いではいけません。業者間での判断(多分契約でしょう)や家庭内での決断は、一つ間違ってしまうと取り返しのないことだつてあります。期限や緊急を要してあわてる前に、早めに内容を把握してゆっくりと考慮する時間を設けましょう。どんな問題でもタイムリミットが迫れば、とても負担になり嫌気がさすものです。

☆

以上、わたしの『お悩みどんとこい』は、今回で最後の執筆となります。幸い、わたしのコザ真宗寺ホームページにも人生相談のコーナーを設けさせていただきました、多くのご相談メールをいただくようになりました。少しでも読者みなさまのお力になればと思っておりますので、いつでも帰依龍照住職あてに『お悩みどんとこい』。長期間のご笑読、本当にありがとうございます。